



令和元年11月26日 災害義援金
友好都市福島県伊達市議会
（台風被害）へ議員有志により
義援金を届けました。



令和2年1月17日 議員研修会の1コマ。
当選時の思いを漢字1文字に。議員同志で説明

Point 1

市内県営水道供給区域の下水道
料金等の徴収業務を県に委託

Point 2

特定目的基金のうち「社会福祉
事業推進基金」「国際交流基
金」を廃止し一般財源で手当て

Point 3

マイナンバーカード交付事業推
進や台風による被災農家への補
助金等による補正予算可決

Point 4

文化会館大ホール天井の安全化
改修に関する陳情は不採択

第4回定例会は、11月25日から12月19日まで、25日間の会期で開きまし
た。
今定例会には、条例の改正や補正予算などの議案24件が提出され、すべ
て原案可決となりました。
また、10月23日に台風19号の対応及び今後の災害対応など突発的な支出
に備えるため予備費の増額について臨時議会を開き、賛成全員で原案可決
となりました。
なお、審議結果一覧については、3頁に掲載しています。

12月定例会・第3回臨時議会

議論白熱

市民の安心・安全めぐり



議会 HP QRコード

〔議案第7号〕白井市上下水道条例の一部を改正する条例の制定について
〔議案第10号〕千葉県と白井市との間における公共下水道の使用料等の徴収等に関する事務の委託に関する協議について

Point 1
市内県営水道供給区域の下水道料金等の徴収業務を県に委託

【議案第7号】条例の一部改正。 【議案第10号】令和3年1月1日から県へ委託のため千葉県と協議することに議会の議決を求める。以上、二つの関連議案が可決されました。

質疑意見など

【議案第7号】

Q 市民への周知はどのよう
に考えていますか。

賛成 イニシャルコストは
5千万円ですが、中長
期的ランニングコスト
は低減されます。県に
委託することで市職員
の業務効率化も図れ、

Q この改正の効果は。
消費税を内税から外税

Q 市の業務効率化と住民
サービスの向上とは。

Q 滞納・督促の取扱いは。
今までの調定部分は市
が、千葉県に委託以降
は県が行います。

〔議案第2号〕白井市社会福祉事業推進基金条例及び白井市国際交流基金条例を廃止する条例の制定について

Point 2
特定目的基金のうち「社会福祉事業推進基金」「国際交流基金」を
廃止し一般財源で手当て

二つの基金は、毎年基金残高を減らし続けています。事業の安定継続のため、基金を廃止し、代わって一般財源の中で確実に予算化して実施していきます。

主な質疑

Q 基金が廃止され、なく
なるサービス、事業は
あるのですか。

A 基金残高を減らし続け
ている基金事業につい
て、安定的に実施する
ため見直しをするもの

Q 基金に関して、利子の
他に投資などの運用は
行っていますか。

A 現金を大口定期などに
運用し、その利子を基

Q 廃止してこれまでの事
業に影響を与えないと
の答弁があったが、最
初の一年間は上期・下
期で前年と比較できる

A データ報告する方策は
考えていないのか。
当初予算の審議の際に
前年度比でどうか
などの説明をしていま
すので、その中で判断
をしていただければと
考えています。

市長に行政運営に関する申し入れをしました

令和元年12月17日に、議員全員で、市長に議会への行政運営報告に関して以下の内容で申し入れをしました。

■「白井市文化会館大ホールの客席天井が特定天井であるという調査結果は議会に報告されていませんでした。しかもその改修工法について、令和元年9月19日

の行政経営戦略会議において決定され、すでに実施設計まで発注されていることが判明しました。市民への情報公開の一環として、ホームページに令

〔議案第15号〕平成31年度白井市一般会計補正予算（第9号）について

Point 3
マイナンバーカード交付事業
推進や台風による被災農家への
補助等による補正予算可決

一般会計予算に対して7億6786万5千円を追加する補正予算が可決されました。主な内容は、新たな市民アンケート費用の追加、マイナンバーカード交付の円滑化、台風の被災農家への補助事業などです。

主な質疑

■総務企画常任委員会

Q 一般管理費の文書管理
に要する経費の中の通
信運搬費は、アンケー
トの郵送代とのことで
すが、アンケートの内
容、抽出方法について
伺います。

A 情報提供計画策定に係
るアンケートを行う予
定です。基本的には無
作為抽出で発送し、回
答いただきます。
3億5千万円余りの財
政調整基金への積み立
てによる基金残高は、
23億3550万円の残
高となります。

A 情報提供計画策定に係
るアンケートを行う予
定です。基本的には無
作為抽出で発送し、回
答いただきます。

■教育福祉常任委員会

Q 待機児童対策補助金の
内容は。
保育士の宿舍借り上げ
支援事業で、当初見込
みより対象者が増える
ことなどにより増額し
ます。

A 保育士の宿舍借り上げ
支援事業で、当初見込
みより対象者が増える
ことなどにより増額し
ます。

■都市経済常任委員会

Q マイナンバー交付推進
に対応するための経費
の積算根拠は。
非常勤職員の雇用を1
名から3名体制にし、
窓口ブースの増設、申
請方法のわからない方
への対応用のタブレット
端末などの購入費用
となります。

A 非常勤職員の雇用を1
名から3名体制にし、
窓口ブースの増設、申
請方法のわからない方
への対応用のタブレッ
ト端末などの購入費用
となります。

Q 私立保育園運営補助金
の内容は。
2つの事業において、
国・県の補助基準額等
に変更が生じたことに
よる増額補正です。一
点目は保育士配置改善
事業の補助対象基準額
などの改正と、新たな
補助対象児童が見込ま
れるためです。二点目
は延長保育事業の国・
県補助基準の改定によ
るものです。

A 2つの事業において、
国・県の補助基準額等
に変更が生じたことに
よる増額補正です。一
点目は保育士配置改善
事業の補助対象基準額
などの改正と、新たな
補助対象児童が見込ま
れるためです。二点目
は延長保育事業の国・
県補助基準の改定によ
るものです。

〔陳情第13号〕白井文化会館大ホール天井の安全化改修に関する陳情

Point 4
文化会館大ホール天井の安全化
改修に関する陳情は不採択

大地震時に落下の危険性が発覚した大ホールの吊り天井。市は、国の安全基準を満たす準構造化工法等を却下し、安全基準不適合だが短期間で安価なワイヤー補強工法で今年着工予定。陳情内容は、議会から市長に「市民に十分な情報公開と説明を行い、科学的知見を参考に慎重で市民合意を得た改修の要請」を求めるもの。教育福祉常任委員会が趣旨採択案、原案共に賛成少数で否決。本会議においても陳情は不採択とされました。

質疑意見など

Q 工法比較表の評価項目
に安全性に関する項目
がない理由は。
各項目ごとに詳細が書
かれていて、そこに安
全性に関する記載があ
ります。（執行部）

Q 準構造化天井は新基準
を満たすということ
ですが、想定震度は。
躯体と一体化するため
躯体と同じ震度6強に
対応。（参考人）

Q 「市民合意」とあります
がどう諮りますか。
市議会議員は市民から
選ばれていますが、今
回の件は議会にも説明
されていません。少な
くとも議員の合意を得
て実施すべきではと思
います。（参考人）

Q 市が進めるワイヤー補
強工法の場合、どの震
度まで天井の石膏ボ
ードは落ちないのです
か。
数値はもっていません
。（執行部）

A 先に天井だけ準構造化
にすると、その後の大
規模修繕で設計が難し
かったり、工期延長や
予算増はありませんか。
先に準構造化した場合
は、天井工事費が削除

A 市民参加条例に大規模
施設整備に市民参加を
とあります。市の改修
では天井落下を防げず、
頭が割れる3倍の衝撃
の揺れに耐えます。陳
情は、人命保護最優先
に考え人災を防ぐよい
機会のため賛成します。

A 市が行うワイヤー補強
は開館25年経った今、
あり方を決める節目に
全体の改修を考えるま
での次善の策です。早
く最善の工法へ移行し、
そこで周知と合意を取
り入れれば良く、現状
の速やかな改善を遅ら
せる陳情には反対です。

A 情報公開はなされてま
すが、内容の早急な訂
正等が必要。技術的な
資料のセカンドオピニ
オン体制が課題です。
参考人の技術的知見は
重要。準構造化天井の
着工までの間に地震が
起きた場合も考え、趣
旨採択を提案します。

趣旨採択

反対

賛成

平成30年度決算を認定

みなさんが納めた税金がどのように使われたか、決算審査特別委員会を開催し、審査・確認しました。一般会計・特別会計・水道会計を認定しました。

一般会計

主な質疑

◇総務部◇

〔人材育成〕

職員個人が希望する研修の参加は、どう扱われていますか。

都合で受講できない場合の代替えや、各課個別の研修等により、積極的に参加させるようにしています。

◇企画財政部◇

〔市民税徴収率向上〕

歳入の市民税について効果的な対策が必要との監査からの指摘がありますが、対応をどのように考えますか。

約100万円以上の高額滞納者が約160人、計4億2千万円程あります。滞納しないための体制として地区担当を決め、電話催告、夜間の納税相談の他、休日の納税相談を月1回実施しています。できるだけ納税者と接触を図っている状況です。

◇市民環境経済部◇

〔景観美化〕

沿道みどりの推進事業の重点戦略として、効果的な植栽活動の検討はしましたか。

1万円の限られた予算の中で各団体が工夫し、環境美化のデザイン

ンから植栽まで行い、コミュニティの活性化にも寄与しています。

◇都市建設部◇

〔道路修繕〕

予算額2億3791万円に対し、決算額1億1597万円と差額が大きい理由は、

国からの社会資本整備総合交付金事業として舗装修繕工事を予定していましたが、補助の内示率が約33%と低くなったことにより、当初予算で見込んでいた10路線を7路線に縮小し実施したものです。

〔下水道〕

工事請負費が当初予算額より大分減っていますが、工事の概要は、

修繕工事は白井第3中継ポンプ場2号ポンプ、ポンプの交換工事は七次橋のマンホールポンプ2号機、百合ヶ丘のマンホールポンプの2号機、百合ヶ丘マンホールポンプの逆止弁交換工事を実施し、それぞれの工事に請負差金が出ています。

◇健康子ども部◇

〔保育園〕

臨時職員賃金の減額理由として臨時職員156名の採用予定が138名にとどまり待機児童の発生に影響したそうですが、保育士派遣委託料の執行額が

半減しているので派遣では対応できなかったのですか。

派遣業者においても、保育士不足により当初予定していた保育士数が確保できなかったため、派遣委託事業も執行残が生じました。

〔住民健診〕

特定保健指導事業について、事業の成果等は、特定保健指導対象者は626人中、保健指導を受けた人が437人。その結果は全て捉えてはおりませんが、今年度の集団検診受検者中で特定保健指導を受けた215人のうち、最後まで指導を受けた中で体重が減少した人が72%いました。またお腹まわりも65%が減少しており、保健指導の効果は出ていると判断しています。

◇教育部◇

〔小学校〕

七次台小学校が、他校と比べて備品購入数が多い理由は、図書室を増築し、図書室だった教室を普通教室に変更したので、2教室分の備品を購入したためです。

主な意見

財政健全化に向けた配慮が随所で図られている

た点は評価します。平成30年の猛暑で学校のエアコン設置が大きな問題になりましたが、衛生面から給食配膳室にも導入の協議がされるべきだったと思います。歳入面では、臨時財政対策債が近年右肩上がりとなってきたいます。地方交付税で必ず戻ると言われてはいるものの、措置されるか気になる点です。

〔賛成〕

30年度からの取り組みの結果、予算編成時に見込まれていた財政調整基金の取り崩しは、前年度より210万円少なく抑え、年度末残高は前年度より245万円増やして26億5160万円となりました。引き続き、誠実な対応と、市民への丁寧な説明をお願いします。

水道会計

主な質疑

給水人口、給水量、有収水量は増加しています。有収率は下がっています。理由は、

30年度は配水場の稼働準備のため管渠の洗浄や配水池の洗浄等を行いました。給水量が多くなったお金になる水量が減っている状況です。

議案等審議結果一覧表

○は賛成 ×は反対 ーは採決に不参加

		議案等 番 号	件 名	付 託 委員会名	審 議 結 果	各議員の賛否																			
						日本共産党		公明党			しろい未来研究会			白井令和				政和		NT 21	市民自治 ネットワーク	市民 の声	北総 一揆	むかし 白井	議長
						中川	徳本	石井	植村	斉藤	田中	和田	石川	古澤	伊藤	秋谷	広沢	血脇	岡田	平田	影山	柴田	小田川	岩田	竹内
第4回定例会	市長提出のもの	継続議案 第17号	平成30年度歳入歳出決算の認定	決算審査 特別委員会	承認	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	—	
		議案第2号	白井市社会福祉事業推進基金条例及び白井市 国際交流基金条例廃止	総務企画 常任委員会	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—	
		議案第4号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部 改正	総務企画 常任委員会	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
		議案第7号	白井市下水道条例の一部改正	都市経済 常任委員会	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
		議案第10号	千葉県と白井市との間における公共下水道の 使用料等の徴収等に関する事務の委託に関す る協議	都市経済 常任委員会	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	
		議案第15号	平成31年度一般会計補正予算（第9号）	各常任 委員会	原案可決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	—	
	陳情	陳情第13号	白井文化会館大ホール天井の安全化改修に関 する陳情	教育福祉 常任委員会	不採択	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	—		

〔賛成全員の議案〕

	議案等番号	件名	付託委員会名	審議結果
第4回定例会	市長提出のもの	継続議案第18号	平成30年度水道事業会計決算の認定	承認
		議案第1号	専決処分（平成31年度白井市下水道事業特別会計補正予算（第2号））の承認	承認
		議案第3号	個人情報保護条例の一部改正	原案可決
		議案第5号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決
		議案第6号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決
		議案第8号	消防団の設置等に関する条例の一部改正	原案可決
		議案第9号	消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	原案可決
		議案第11号	白井駅前公民館、白井市白井駅前児童館及び白井市白井駅前老人憩いの家の指定管理者の指定	原案可決
		議案第12号	学習等供用施設の指定管理者の指定	原案可決
		議案第13号	白井コミュニティセンター及び白井市白井児童館の指定管理者の指定	原案可決
		議案第14号	高齢者就労指導センターの指定管理者の指定	原案可決
	議案第16号	平成31年度国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第2号）について	教育福祉常任委員会	原案可決

	議案等番号	件名	付託委員会名	審議結果
第4回定例会	市長提出のもの	議案第17号	平成31年度介護保険特別会計保険事業勘定補正予算（第3号）	原案可決
		議案第18号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正	ー
		議案第19号	平成31年度一般会計補正予算（第10号）	ー
		議案第20号	平成31年度国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第3号）	ー
		議案第21号	平成31年度介護保険特別会計保険事業勘定補正予算（第4号）	ー
		議案第22号	平成31年度後期高齢者医療特別会計事業勘定補正予算（第2号）	ー
		議案第23号	平成31年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）	ー
		議案第24号	平成31年度水道事業会計補正予算（第3号）	ー
	陳情	陳情第11号	政治犯罪の為千葉県内司法行政共謀の無罰拘束（刑事訴訟事件）内乱事件に関する陳情書	議長報告
		陳情第12号	「日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書」の採択を求める陳情書	議長報告

	議案等番号	件名	付託委員会名	審議結果
臨時第3回	の市長提出のもの	議案第1号	平成31年度一般会計補正予算（第8号）	ー

市政のここが 知りたい

17人(33項目)の
質問があり、その要
約を掲載しました。会
議録をご覧ください。この文章は各議
員が作成しています。

岩田 典之議員

市長の唱える

「真の市民自治」とは何か

- 問** 市民の意識改革等をご
のように進めていきますか。
- 答** 何でも行政に頼るの
ではなく、地域で話し合い、
みずから実践していくこと
が大事だと考えています。
- 問** タウンミーティング参
加者は全部で52名。具体的
- 答** 参加協働や行政指針を
進める事が使命と考えます。

危険なスズメバチ駆除は誰がする

- 問** スズメバチの巣駆除は。
答 所有者の責任において
対応することが基本です。
- 問** 市長が掲げる安全なま
- 答** 中には獐猛なハチから市民を
守ることは含まれないのか。
- 答** 災害や防犯等を指し一
部のハチは考えていません。



スズメバチの巣駆除

平田 新子議員

まちづくり協議会への 市の支援体制を問う

- 問** 地域特性で異なる形の
まちづくり協議会に、公平
な人・物・金の支援は。
- 答** 人口や活動など公平性
を担保した人的・財政的支
援が必要と考えています。
- 問** 一人も取り残さないま
- 答** ちづくりには、支援体制の
早期確立・公表の必要性を
痛感します。その方針は。
- 答** 小学校区まちづくり協
議会への補助金制度につい
て、令和2年度開始に向け
て検討を進めています。

竹内 陽子議員

白井の将来の方向性は

- 問** まちづくり協議会を発
足させる目的で直営となり
3年の期間を来春終える公
民センターの今後は。
- 答** 直営のまま次年度の第
二小学校区まちづくり協
議会設立準備会発足を予定。
問 まちづくり協議会の整
- 答** まちづくり協議会を
備地区と未整備地区との公
平なフオー体制は。
- 答** 市民活動支援課を中心
に全庁的に情報共有、フ
ォロー体制を充実させます。
「今後の公共施設の在り
方・整備」についても質問
しました。

石井 恵子議員

防災・減災のための災害対策

- 問** 情報発信の充実を。
答 防災行政無線、配信サ
ービス、ホームページ、ツ
イッター、テレビでのテロッ
プ等で発信しています。防
災ラジオは防災行政無線の
周波数を合わせるためデジ
- 問** タル化した際検討します。
問 倒木、停電対策は。
答 市が管理する道路、公
園等公共施設の樹木は業者
へ管理を委託しています。
民地の倒木対策はありません。
台風19号では、人工呼

植村 博議員

白井市の多文化共生

- 吸器をつけた方への対応に
ついて、関係部署で調整を
行い、自家発電で72時間対
応可能な市役所庁舎で受け
入れることとしました。
- 問** 福祉避難所について。
答 協定を結んでいる施設
は高齢者施設です。障がい
者施設の事業所と協定締結
に向け準備を進めます。
- 問** 断水や停電時に有効な
液体ミルクの導入は。
答 液体ミルクは、粉ミル
クよりコストがかかり、保
存期間が短いことから検討
が必要です。



ウェルプラット内の災害時用備蓄倉庫

行政窓口の利便性向上について

- 問** 国際化は人と人・心と
心の交流を通じ、市民一人
ひとりが世界に目を開き相
互理解を深めることが地域
の活性化を促進します。外
国籍市民という他者の思い
を知ることが不可欠です。
基本台帳上外国人住民とは
答 適法に3ヶ月を超え在
- 問** 留する者、特別永住者、特
定技能者などで市内に1、
241名です。
- 問** 相談窓口等支援体制は。
答 企画政策課で受付、内
容に応じ担当課に繋ぎます。
国際交流協会や通訳ボラン
ティアにも協力戴きます。
携帯通訳機も購入予定です。

和田健一郎議員

今秋の大型台風からの 市の防災対策検討

- 問** 市の重要施設等の非常
用電源の対応時間は。
答 庁舎は72時間、白井配
水場は24時間、七次中継ポ
ンプ場は12時間です。
- 問** 停電が長期化した場合
の非常用発電の燃料確保は。
- 答** 市内のガソリンスタン
ドに燃料調達を協力要請し
確保します。難しい場合は
県と石油連盟の覚書に基づ
き、県を通して要請します。
- 問** ラジオが災害時の情報
伝達手段として注目されま

石川 史郎議員

白井市における「街づくり」としての 地域包括ケアシステムの到達点と今後について

- したが、臨時災害放送局に
ついて市としての考えは。
答 提案された事も今後検
討していく事と考えます。
- 存続要望の多い桜台小中学校
自校式給食の現状確認と今後**
- 問** 児童生徒数と経費の推
移は。
答 平成28年度642名、
費用約6千5百万円29年度
630名、約6千7百万円
30年度604名、6千7百
万円。なお平成15年度は1
126名です。

田中 和八議員

送迎ステーションの安全性は

- 問** 健康寿命を延ばす施策
と介護医療、認知発症率の
関係をどう見ているのでし
ょうか。
- 答** 2025年に向け、日
常生活に制限のない期間で
ある健康寿命を延ばす事は
重要であり、市では健康づ
くりや介護予防、認知症予
防の施策を実施しています。
- 問** 市ならではの解決策を
検討していますでしょうか。
- 答** 白井楽トレ体操など、
市民が主体的に介護予防に
- 問** 一時預かり・小規模保
育併設施設が4月1日にオ
ープンしますが、保育施設
横にある鉄塔からの電磁波
による園児への健康影響に
ついて伺います。
- 答** 送電線には常に電気が
超高電圧で流れ続けていま
す。この電気には磁力を発
生させる力があり、送電線
の周りには常に電磁波があ
ります。今回送迎ステーシ
ョン事業の実施予定地周辺
で、東京電力の協力で測定
した結果、1.9マイクロ
- 問** テスラという状況で、限度
値の200マイクロテスラ
の105分の1という結果
で、世界保健機関の限度値
より低く、ステーション利
用児童への健康への影響は
ないものと考えています。
「健康増進施策の充実」に
ついても質問しました。



岡田 繁議員

若い世代の流入を増やすための 具体的な方法

問 白井市第5次総合計画にある目標人口6万5千500人に達成するための具体的な対策について質問します。

答 若い世代の定住の促進に向けて、住環境、働く環境、子育て環境の3つの環境の充実を図ることとしており、具体的には、住環境面では、多世代近居の推進、駅前周辺の歩道等のバリアフリー化、白井の貴重な資源である緑や歴史文化に触れ合う機会の創出などを進めています。

中川 勝敏議員

先生の働き方改革 「二年単位の変形労働制」の導入に反対

問 この10月閣議決定された教員の変形労働時間制は、

答 学校行事が多い4・6・10・11月は勤務時間を増やし、その分夏休みに5日程度の休みをとれるイメージです。

問 白井・全国の先生の勤務実態は平均で11時間勤務です。3時間オーバーは生

答 夏季休業中の休みを取りやすくなるが、あくまで働き方改革で勤務時間の短

古沢由紀子議員

子どもの生きる力・ 「自己肯定感」を育むために

問 子どもプランに「子どもの自尊感情を育むための啓発活動」という施策を取り入れた経緯を伺います。

答 幼児期から保護者が受容的肯定的に子どもに接する大切さと具体的なかわり方を伝えていく施策が必

要であると考えたからです。

問 自尊感情を含む自己肯定感のある子どもは、外部からの否定に遭つても乗り越える力があります。白井の保育教育にとって自己肯定感の育成はどう位置づけられているのか伺います。

答 就学前児童の保護者へ啓発を行い、子どもの自尊感情が育まれるよう支援しています。

問 生涯学習課の家庭教育事業に自己肯定感を育む講座があります。活用を広げ

徳本 光香議員

学校給食のあり方

問 市長の考える教育としての給食や食育とは。

答 安全安心と、地産地消を進めていきたいです。

問 主菜の冷凍加工食品の使用割合は新給食センター

文化会館大ホールの天井改修

問 天井の委託調査結果は、

答 大地震時は天井脱落の可能性ありとの結果です。

問 市民に知らせる時期は、公表は考えていませんか。

答 ワイヤー補強改修後、

斉藤 智子議員

「子育て支援拠点」を利用しやすくし、 待機児童解消へ繋げる方策は

問 白井市の子育て支援センターは直営ですが、近隣市はどうなっていますか。

答 直営の他、委託や補助事業等それぞれの市に合った方法で運営しています。

問 配置される職員に、資格等が必要ですか。

るための取組みは。

答 就学前健診時や公民館での家庭教育講座です。

問 心理専門職による講座等は事業化できますか。

答 なるほど行政講座の際協力要請をしていきます。



っている子育て支援センタ

問 待機児童対策は重要な取り組みの一つです。子育て支援センターの外部委託等についても、柔軟に対応し、子育て世帯が魅力を感じられるまちづくりを目指してまいります。

小田川敦子議員

避難所機能の充実と 避難行動要支援者避難支援プランの実効性を問う

問 電動医療機器が使えるコンセントのある施設は3カ所、オストメイト設置は11カ所だ。避難所機能の改善と情報提供が必要では。

答 検討して参ります。

問 支援対象の高齢者を70

学童保育所を業務委託したことの 評価と課題を問う

問 エリアマネージャーの職務の評価を伺います。

答 概ね良好と考えます。

問 勤務実態を把握し、新設した職務の機能を高める

答 現状は業務委託の継続で準備等を進めています。

影山 廣輔議員

駅前ロータリーの諸問題を問う

問 ロータリーを圧迫せずバスの不便を生じさせない

答 直しを考えています。

問 西白井駅北口ロータリーのゼブラゾーンを乗降ス

答 今後の課題として、公共交通活性化協議会の中で話はしたいと思

問 西白井駅北口ロータリーでは一般車がバス用レーンに駐停車し危険

答 区画線の引き



西白井駅北口ロータリー

ペースとして活用しては。

問 待機車両が増えれば検討していく必要があります。

問 雨風を防ぐ屋根やベンチの増設、ボックスの新設など、送迎車両待ちの環境を整える考えは。

答 地域公共交通網形成計

広沢 修司議員

災害に強いまちづくり 整備の拡充を

問 富ヶ沢・富ヶ谷地区消防団の消防小屋は、富ヶ沢

答 地域防災力を高めていくためには、地域の防災リーダーが果たす役割は大きく、育成に努めていく必要があると考えています。

問 住民が策定する、地区の防災計画を市の地域防災計画に位置付ける事について、また、防災条例の制定

答 そのように位置づけを考えています。条例の制定については、必要性を含め、今後、検討していきます。

問 防災意識向上のために、各地区で防災リーダーを育成する必要があると思

答 防災意識向上のために、各地区で防災リーダーを育成する必要があると思

柴田 圭子議員

災害時における避難誘導と 犬猫等の保護

問 避難行動をとることが困難な方の対応は。

答 避難行動要支援者避難支援プランの改定に取り組

答 避難行動要支援者避難支援プランの改定に取り組

自校式給食の今後

問 12月3日、教育委員会は桜台小中学校の自校式給食を当分の間現状のままとし、改めて検討するという決定をしました。市長は結論には合意していますか。

答 教育委員会の決定につ

画に沿って検討したい。

問 ロータリー周辺の市民有志による賑わいづくりの取り組みへ市の支援は。

答 官民分担を踏まえ、取組みの醸成につながることや周知などについては支援していきたいと考えます。

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

答 官民分担を踏まえ、取

視察報告

総務企画常任委員会 令和元年10月24日～25日

日詰駅だけでは、まちの発展が見込めないことから、住民要望である新駅誘致運動を初め平成10年、紫波中央駅の開業が決まり、駅前の荒れ地を前町長のリーダーシップにより官民連携による町の中心と考え、町役場の移動新築、周辺の宅地開発、オガールプラザ着工へと発展。エリア内は街並みを考え電柱が無く地下埋設になっており景観が良く、中央に広めの芝生広場があり、ここではバーベキューやボール遊びができるスペースになっており、新たなにぎわいのある街へと変貌しています。官民連携のまちづくりにつながった成功例であると考えます。

北上市のまちづくりは約20年前から、人口減少時代の到来に向け、将



【視察地・視察項目】

- ①岩手県柴波町
オガールプロジェクトについて
- ②岩手県北上市
シティプロモーションについて

来の都市イメージを「あじさい都市」とし、市内それぞれの地域コミュニティが、独自の資源を生かしながら、活力ある地域として自立し、商業施設や官公庁が立地する都市拠点と相互に連携しながら、都市としての機能を保つ未来の持続可能な都市の姿で、地域があじさいの花のように色とりどりの花を咲き誇らせる姿をイメージして命名したものです。

シティプロモーションを推進する取り組みを支える担い手は、市民、地域団体、NPO、企業、行政と市に関わる全ての人で、自らがプロモーション活動に参画することで、まちへの愛着、誇り「シビックプライド」を醸成し都市のブランド力を向上しています。

視察報告

教育福祉常任委員会 令和元年10月29日～30日

教育福祉常任委員会は①全国学力テストトップレベルの秋田市と②「ひきこもり問題」を見事に解決した藤里町を視察しました。

①秋田市における学力向上の要因は、小中学校の先生方が一緒に研修を受けれる場を多く持っている事、家庭学習を一日一時間保護者の協力を得て行っている事の説明を受けました。

また議会で議員全員がタブレット利用をしている説明を受けて刺激を受けました。

②藤里町におけるひきこもり問題解決の要因は社会福祉協議会の菊池まゆみさん。「引きこもりまちおこしに立つ」を実践し牽引役ともなっている人です。まず手掛けた事は地元の市民団体の事務所兼務の「こみっと」



【視察地・視察項目】

- ①秋田県秋田市
学力向上について
- ②秋田県藤里町
ひきこもり対策について

という拠点をスタートします。誰がひきこもりなのか区別がつかない中で自然に交流が始まります。例えば、パソコンの苦手な人に操作方法を教えてあげることにより存在を認めてもらい、頼りにされます。地元の社長さん達を講師として仕事について語ってもらい、「暇なら、手伝いに来てくれよ!」と誘われ、仕事が決まることもあります。

もう一つ特筆すべきは「お節介」。ハローワークに同行し、書類の書き方がわからなければ一緒になって作成するなど、職につながるまでのプロセスにとことん付き合うのです。

藤里町の社会福祉協議会の取組みは、白井市においても参考にできることが多々ありました。

視察報告

都市経済常任委員会 令和元年10月30日～31日

美濃加茂市あい愛バス運行事業目的の着眼点が、光っていました。

「車」文化→「車+バス」文化の定着この意識改革は一朝一夕に定着することではありませんが、利用者を増やし安定した運行を続ける上で、確実に必要な視点です。美濃加茂市の場合、運行経費約1億1千万円と市の負担は大きく（国・県補助金は約2280万円）、対して運賃収入は530万円ほどとのことでした。

しかし、一人当たりの単価を下げて市民サービスを向上させることを当面の目標とし、利用者の増加に取り組みました。多くの方にバスを利用していただくことが、まちの賑わいや市の活性化につながると考え、利用促進に向けた取り組みに力を注ぎます。

高山市の市内全域20地区に置かれ



【視察地・視察項目】

- ①岐阜県美濃加茂市
コミュニティバス「あい号」運行事業について
- ②岐阜県高山市
空き家対策を含めたまちづくりについて

ているまちづくり協議会は、主体的に地域の維持・改善・振興に取り組む「地域を支える担い手」として位置付けられ、「防犯・防災・健康・福祉・青少年育成・自然・環境・教育・文化・産業・親睦・交流」と、地域課題に対応する実行機能を担った組織です。市は、人件費も含めた財政的な支援や地区担当職員の配置、全地区に事務所の提供等を行っています。

また、地域課題に取り組む方法として際立っているのが、市道及び付帯する水路の維持・修繕は予算枠（約2億円）を設け、各地区による実施事業の決定をふまえ市が実施する点があげられます。いずれも興味深い事業でした。

研修報告

議員研修会 令和2年1月17日

昨年4月改選後、白井市議会も新しい顔ぶれとなり、議会改革を推進していく方向で、市民や市役所職員にも傍聴頂きながら、旧知の仲であるお二人の講師による関連した2テーマ連続の充実した議員研修会でした。

①【議会改革と動く議会】

取手市議会事務局次長 岩崎弘宣氏

「市を良くしていこう」との共通目標で議会と議会事務局が一体となり、連続2回も「マニフェスト大賞」を受賞された等、議会改革を推進している取手市にあって、議会事務局職員歴通算24年目の岩崎氏の信条は『議会愛』。議会からの議案や条例の提案・議員間討議・女性議員による議会改革特別委員会・出前型議会報告会・中学校との共同事業（模擬体験議会）・災害対応等の具体例と共に、「チーム議会」としての議員や委員会の動き方、議会と事務局の関係性、年間の活動状況を、非常に熱く語られ、我々には『目から鱗』の有意義な研修でした。



②【問われる議員定数・報酬 一住民自治の進化・深化の視点から考える一】

山梨学院大学教授（法学部政治行政学科、大学院社会科学研究所） 江藤俊昭氏

議員定数・報酬は別の論理として議会自らの責任で住民自治の中で議論し決定されるべきもので、その大前提は議会力のアップという視点。行政改革は効率化、議会改革は地域民主主義の実現と目的は異なっている。「それにしても、白井市の議員報酬は低すぎるよね!なんで?」多くの人が立候補し議員活動が出来る条件整備は必要。他国の夜間議会や無報酬を問う人があるが、日本の議会は他国より仕事内容が多く馴染まない議論・・・といった講義の中で、まず議員がちゃんと活動をしていることが最も重要なことであると話されていました。



血税で報酬を得ている議員が一人ひとりとして、また「チーム議会」として何をすべきか。議員定数や報酬の検討以前に、白井市と市民のために仕事の多様性と質の向上が問われるお二人のお話しでした。これを実践に繋いでいくことが、議会全体の大きな課題と痛感致しました。白井市議会では議員間討議や議会報告会など未実施の活動もあり、市民の中に入っていく、行政に提案をしていくといった「チーム議会」の活動形成を目指して、出来ることから一步一步、議会改革に取り組んでいきたいと覚悟を新たにした有意義な学びの時間でした。

編集後記

昨年、ラグビーワールドカップで、盛り上がった日本。他国間の試合も隔てなく応援し「おもてなし」の心を世界中に発信した日本。1964年10月10日、青空にブルーインパルスが描いた五輪のマーク。色鮮やかによみがえります。

あれから56年、7月には再びスポーツの祭典、東京オリンピック・パラリンピック競技が行われ、世界中から大勢の選手・観客が日本を再び訪れます。県内でも競技が行われ、数十年後まで語り継がれる素晴らしいスポーツの力、躍動感を、今から楽しみにしています。

(田中 和八)